

(1) 患者数

期 間	令和5年1月1日～12月31日
年間入院患者延べ数※1	13,716人
年間入院がん患者延べ数※2	2,066人
年間外来がん患者延べ数※3	40,676人

(2) 検査等の実施状況

期 間	令和5年1月1日～12月31日
病理組織診断	7,047件
病理細胞診断	8,659件
病理組織迅速組織顕微鏡検査	211件

(3) 手術等の状況

大腸がん・肺がん・胃がん・乳がん・前立腺がん・肝胆膵がんに関する悪性腫瘍の手術件数（令和5年1月1日～12月31日）

大腸がん（C18\$、C19、C20、D01.0、D01.1、D01.2）の手術件数	
開腹手術 K7193、K739\$、K740\$	6件
腹腔鏡下手術 K719-3、K740-2\$	54件
うち、内視鏡手術用支援機器を用いるもの（ロボット支援手術）	8件
内視鏡手術 K721\$、K721-4、K739-2、K739-3	32件

肺がん（C34\$、D02.2）の手術件数	
開胸手術 K511\$、K514\$、K518\$	0件
胸腔鏡下手術 K514-2\$	51件
うち、内視鏡手術用支援機器を用いるもの（ロボット支援手術）	7件

胃がん（C16\$、D00.2）の手術件数	
開腹手術 K654-2、K6552、K655-42、K6572	16件
腹腔鏡下手術 K654-3\$、K655-22、K655-52、K655-23、K655-53、K657-22、K657-24、K657-23	1件
うち、腹腔鏡下手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの（ロボット支援手術））K655-23、K655-53、K657-24	0件
内視鏡手術 粘膜切除術（EMR）K6531	0件
内視鏡手術 粘膜下層剥離術（ESD）K6532	47件

乳がん（C50\$、D05\$）の手術件数	
手術 K476\$	129件
乳癌冷凍凝固摘出術 K475-2	0件
乳腺腫瘍摘出術（生検） K474\$	2件
乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術 K474-3\$	3件
乳房再建術（乳房切除後） 二次的に行うもの K476-32	0件

前立腺がん（C61）の手術件数	
開腹手術 K843	0件
腹腔鏡下手術 K843-2、K843-3、K843-4	32件
うち、腹腔鏡下手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの（ロボット支援手術）） K843-4☒	32件

肝臓がん（C22\$, D01.5）の手術件数	
開腹手術 K695\$	16件
腹腔鏡下手術 K695-2\$	2件
うち、内視鏡手術用支援機器を用いるもの（ロボット支援手術）	0件
マイクロ波凝固法 K697-2\$	0件
ラジオ波焼灼療法 K697-3\$	6件

胆のうがん（C23）の手術件数	
開腹手術 K675\$	1件
腹腔鏡下手術 K675-2	0件

胆管がん（C240、C241、C248、C249）の手術件数	
開腹手術 K677、K677-2	2件

膵臓がん（C250、C251、C252、C253、C254、C257、C258、C259）の手術件数	
開腹手術 K700-2、K702\$, K703\$, K704	11件
腹腔鏡下手術 K700-3、K702-2\$, K703-2\$	1件
うち、内視鏡手術用支援機器（ロボット支援手術）を用いて行った件数	0件

(4) 放射線治療の状況

全てのがんを対象としたのべ患者数（令和5年1月1日～12月31日の間に放射線治療を開始した患者数）

体外照射	245人
定位照射（脳）	0人
定位照射（体幹部）	17人
強度変調放射線治療（IMRT）	75人
粒子線治療（重粒子線、陽子線治療）	0人
密封小線源治療	0人
核医学治療	2人

我が国に多いがんを対象としたのべ患者数（令和5年1月1日～12月31日の間に放射線治療を開始した患者数） ※原発巣に記載

肺がん	107人
胃がん	11人
肝がん	5人
大腸がん	6人
胆のう・胆管がん	4人
膵臓がん	4人
乳がん	81人
前立腺がん	42人

(5) 緩和ケアチームに対する新規診療症例の状況（重複可）（令和5年1月1日～12月31日）

身体症状の緩和を行った症例数	242人
精神症状の緩和を行った症例数	123人
社会的苦痛に対する緩和を行った症例数	53人

(6) 自施設で実施したがんの治療に際する妊孕性温存治療の状況（令和5年1月1日～12月31日）

がんの治療に際する妊孕性温存目的で精子凍結を行った患者の人数	0人
上記のうち、精巣内精子採取術（Onco-TESE）を行った患者の人数	0人
がんの治療に際する妊孕性温存目的で未受精卵子の凍結保存を行った患者の人数	0人
がんの治療に際する妊孕性温存目的で受精卵（胚）の凍結保存を行った患者の人数	0人
がんの治療に際する妊孕性温存目的で卵巣組織の凍結保存を行った患者の人数	0人

専門とするがんの診療状況

時期・期間：令和5年1月1日～12月31日

- 注1) ・専門(◎)：当該がんを特に専門とする医師がおり、周囲の施設から患者を積極的に集めている
 ・対応可(○)：(積極的に患者を集めるわけではないが)受診された患者は自施設で標準的な対応(診断・治療)が可能である
 ・他施設へ紹介(△)：他の施設に紹介することで対応している

注2) 「臨床試験の実績の有無」については、過去5年間の臨床試験の参加実績

成人(15歳以上)	専門◎/対応可○/他施設へ紹介△(注1)					臨床試験 (注2) の実績の	担当診療科 (複数記載可)
	診断 (生検等)	初発例への治療			再発例 への治療		
		手術	放射線	薬物療法			
脳腫瘍(リンパ腫以外)	◎	◎	◎	◎	◎	無	脳外、脳内
脳腫瘍(リンパ腫)	◎	—	◎	◎	◎	無	脳外、脳内
脊髄腫瘍	○	○	○	○	○	無	整形外科
眼腫瘍(眼瞼以外)	△	△	△	△	△	無	眼科
鼻腔・副鼻腔がん	◎	○	○	○	○	無	耳鼻科
口腔がん	◎	◎	◎	◎	◎	無	口腔外科
咽頭がん(上・中・下)	◎	○	◎	◎	◎	無	耳鼻科
喉頭がん	◎	○	◎	◎	◎	無	耳鼻科
唾液腺がん	◎	○	○	○	○	無	耳鼻科
外耳道がん	○	○	○	○	○	無	耳鼻科
頭頸部肉腫	○	○	○	○	○	無	耳鼻科、口腔外科
甲状腺がん	◎	◎	◎	◎	◎	有	内分泌、消外、耳鼻
乳がん	◎	◎	◎	◎	◎	有	乳腺外科
気管がん	◎	◎	◎	○	◎	無	耳鼻科
非小細胞肺がん	◎	◎	◎	◎	◎	有	呼内、呼外
小細胞肺がん	◎	◎	◎	◎	◎	有	呼内、呼外
胸腺がん	◎	◎	◎	◎	◎	無	呼内、呼外
胸腺腫	◎	◎	◎	◎	◎	無	呼内、呼外
縦隔胚細胞腫瘍	◎	◎	—	◎	◎	無	呼内、呼外

成人（15歳以上）	専門◎／対応可○／他施設へ紹介△（注1）				再発例 への治療	臨床試験 （注2） の実績の	担当診療科 （複数記載可）
	診断 （生検等）	初発例への治療					
		手術	放射線	薬物療法			
縦隔腫瘍（上記以外の腫瘍）	◎	◎	◎	◎	◎	無	呼内、呼外
中皮腫（胸膜）	◎	◎	◎	◎	◎	無	呼内、呼外
中皮腫（腹膜）	○	○	○	◎	○	無	消内、消外
食道がん	◎	△	◎	◎	◎	無	消内、消外
胃がん	◎	◎	◎	◎	◎	有	消内、消外
小腸がん	◎	◎	◎	◎	◎	無	消内、消外
大腸がん（結腸・直腸）	◎	◎	◎	◎	◎	有	消内、消外
肛門・肛門管がん	◎	◎	◎	◎	◎	無	消内、消外
消化管間質性腫瘍（GIST）	◎	◎	—	◎	◎	有	消内、消外
消化管の神経内分泌腫瘍（NET／NEC）	◎	◎	○	◎	◎	無	消内、消外
肝臓がん	◎	◎	◎	◎	◎	無	消内、消外
胆のう・胆管がん	◎	◎	◎	◎	◎	無	消内、消外
膵臓がん（NET/NEC以外）	◎	◎	◎	◎	◎	有	消内、消外
膵臓の神経内分泌腫瘍（NET／NEC）	◎	◎	◎	◎	◎	無	消内、消外
腹膜偽粘液腫（他のがんの腹膜播種を除く）	◎	○	—	△	△	無	消内、消外
デスモイド腫瘍	△	△	△	△	△	無	整形外科
後腹膜肉腫	○	○	○	○	○	無	消内、消外、泌尿器
腎がん	○	○	—	○	○	無	泌尿器
褐色細胞腫・傍神経節腫瘍（頭頸部以外）	○	○	○	○	○	無	内分泌、消外、泌尿
副腎皮質がん	△	△	△	△	△	無	泌尿器
腎盂尿管がん・膀胱がん	○	○	○	○	○	無	泌尿器
精巣腫瘍	○	○	○	○	○	無	泌尿器
前立腺がん	○	○	○	○	○	有	泌尿器
子宮頸がん（上皮性）	◎	○	○	◎	◎	無	産婦人科
子宮体がん（上皮性）（子宮がん肉腫を含む）	◎	○	○	◎	◎	無	産婦人科
子宮肉腫	◎	○	○	◎	○	無	産婦人科

成人（15歳以上）	専門◎／対応可○／他施設へ紹介△（注1）				再発例 への治療	臨床試験 （注2） の実績の	担当診療科 （複数記載可）
	診断 （生検等）	初発例への治療					
		手術	放射線	薬物療法			
卵巣がん、卵管がん、腹膜がん（上皮性）	◎	◎	—	◎	◎	無	産婦人科
卵巣悪性胚細胞腫瘍	◎	◎	—	◎	◎	無	産婦人科
外陰がん	○	△	○	◎	○	無	産婦人科
四肢・表在体幹の悪性軟部腫瘍	△	△	△	△	△	無	形成外科
四肢の悪性骨腫瘍	△	△	△	△	△	無	整形外科
脊椎・骨盤の悪性骨腫瘍	○	△	△	△	△	無	整形外科、消外、産婦人科
皮膚の悪性黒色腫	◎	◎	○	△	○	無	形成外科
皮膚がん（悪性黒色腫以外）	◎	◎	○	△	○	無	形成外科
悪性リンパ腫	◎	—	◎	◎	◎	無	血液内科
急性白血病（骨髄性、リンパ性）	◎	—	○	◎	◎	有	血液内科
慢性白血病（骨髄性、リンパ性）	◎	—	○	◎	◎	無	血液内科
多発性骨髄腫	◎	—	◎	◎	◎	無	血液内科
原発不明がん	○	○	○	○	○	無	

小児（15歳未満）	専門◎／対応可○／他施設へ紹介△				再発例 への治療	臨床試験 の 実績の有	担当診療科 (複数記載可)
	診断 (生検等)	初発例への治療					
		手術	放射線	薬物療法			
小児脳腫瘍	△	○	○	△	△	無	脳外、脳内
小児眼腫瘍	○	△	△	△	△	無	眼科
小児悪性骨軟部腫瘍	△	△	△	△	△	無	整形外科
小児造血器腫瘍	◎	—	○	◎	○	無	小児
小児固形腫瘍(脳・目・骨軟部以外)	△	△	○	○	△	無	小児